

## 第18回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第18回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 2019年10～12月期の業況は「ほぼ横ばい」。
- 農水産業と卸売・小売業はやや改善、運輸業も改善した一方、宿泊・飲食業と製造業はやや悪化、不動産業は大幅に下落しマイナスに転じた。
- 2020年1～3月期の業況は「やや悪化」する見通し。

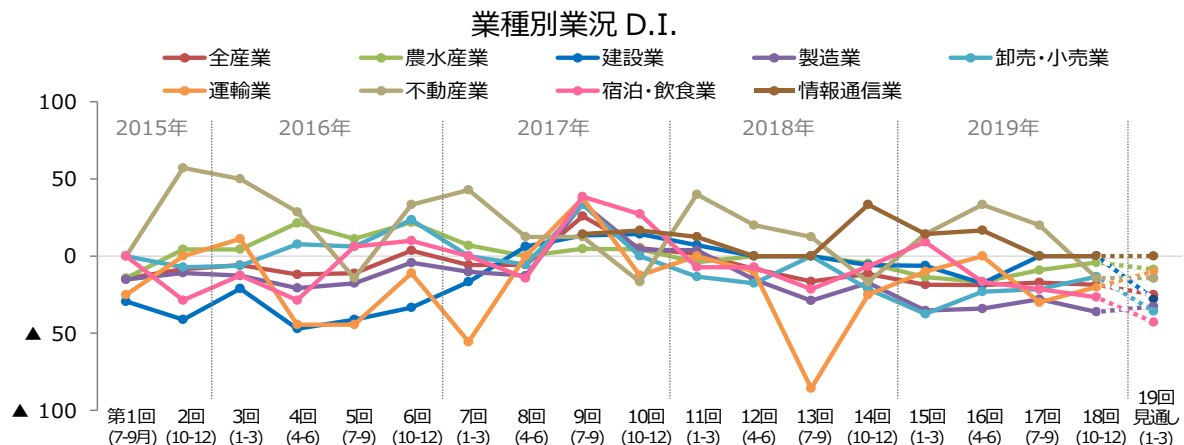
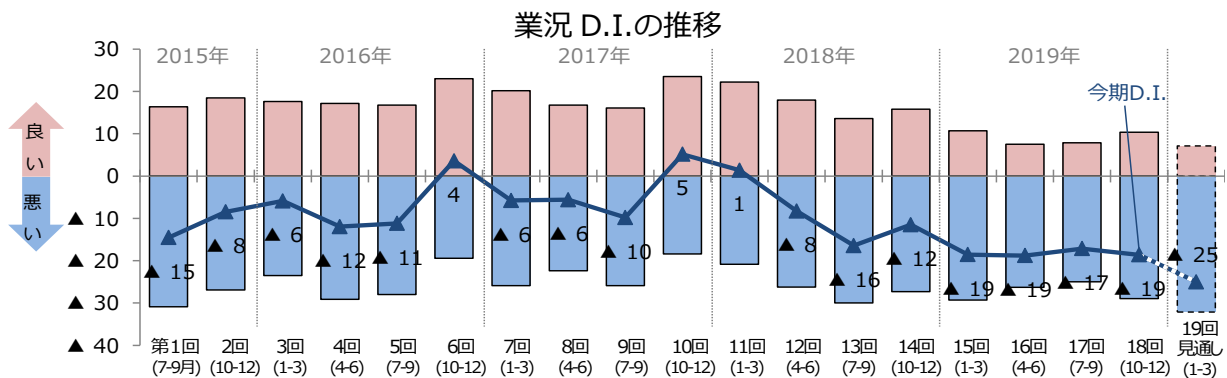
### 業況 D.I.

○今期は▲19(良い<悪い)と、前期(▲17)からほぼ横ばいで推移。

- 全体としては7期連続のマイナス。
- 前年同期(▲12)と比較すると、やや悪化となっている。
- 業種別では、農水産業(前期▲9→今期▲4)と卸売・小売業(前期▲21→今期▲13)はやや改善、運輸業(前期▲30→今期▲20)も改善した一方、宿泊・飲食業(前期▲21→今期▲27)と製造業(前期▲28→今期▲36)はやや悪化、不動産業(前期20→今期▲14)は大幅に下落しマイナスに転じた。

○来期は▲25(良い<悪い)と、やや悪化する見通し。

- 業種別では、今期改善した運輸業(今期▲20→来期▲10)は引き続き改善すると見込まれる。今期やや悪化した宿泊・飲食業(今期▲27→来期▲43)は更に悪化し、卸売・小売業(今期▲13→来期▲36)と建設業(今期0→来期▲28)も大幅に悪化する見通し。



※ 上記は、業況 D.I.値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D.I.	<p>○今期は▲19(良い&lt;悪い)と、前期(▲17)から<u>ほぼ横ばい</u>で推移。          &gt;全体としては7期連続のマイナス。          &gt;前年同期(▲12)と比較すると、<u>やや悪化</u>となっている。          &gt;業種別では、農水産業(前期▲9→今期▲4)と卸売・小売業(前期▲21→今期▲13)は<u>やや改善</u>、運輸業(前期▲30→今期▲20)も改善した一方、宿泊・飲食業(前期▲21→今期▲27)と製造業(前期▲28→今期▲36)は<u>やや悪化</u>、不動産業(前期 20→今期▲14)は大幅に下落しマイナスに転じた。</p> <p>○来期は▲25(良い&lt;悪い)と、<u>やや悪化</u>する見通し。          &gt;業種別では、今期改善した運輸業(今期▲20→来期▲10)は引き続き改善すると見込まれる。今期<u>やや悪化</u>した宿泊・飲食業(今期▲27→来期▲43)は更に悪化し、卸売・小売業(今期▲13→来期▲36)と建設業(今期 0→来期▲28)も大幅に悪化する見通し。</p>
生産高 D.I.	<p>○今期は▲15(増加&lt;減少)と、前期(▲20)より<u>やや改善</u>した。</p>
売上・完工高 D.I.	<p>○今期は▲17(増加&lt;減少)と、前期(▲24)より<u>やや改善</u>した。          &gt;業種別では、不動産業(前期 20→今期 0)は大幅に下落、卸売・小売業(前期 7→今期▲24)も大幅に下落しマイナスに転じた。一方、農水産業(前期▲38→今期▲12)は大幅に改善、運輸業(前期▲10→今期 10)と情報通信業(前期▲14→今期 38)も大幅に改善しプラスに転じている。</p> <p>○来期は▲24(増加&lt;減少)と、<u>やや悪化</u>する見通し。          &gt;業種別では、今期大幅に下落した不動産業(今期 0→来期 14)は上昇すると見込まれるものの、建設業(今期▲26→来期▲39)は悪化、今期大幅に改善した運輸業(今期 10→来期 0)は再び下落、農水産業(今期▲12→来期▲33)も大幅に悪化する見通し。</p>
製品・商品在庫 D.I.	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が8%、「適正」が79%、「不足」が13%、D.I.は▲4(過剰&lt;不足)となり、前期(▲3)から<u>ほぼ横ばい</u>で推移。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○今期は 1(上昇&gt;下落)と、前期(1)から<u>横ばい</u>で推移。          &gt;業種別では、運輸業(前期 38→今期 22)は下落、卸売・小売業(前期 14→今期▲24)も大幅に下落しマイナスに転じた。一方、農水産業(前期▲27→今期▲17)は依然マイナス圏に留まるものの改善、不動産業(前期 25→今期 50)も大幅に上昇、情報通信業(前期▲14→今期 13)も大幅に改善しプラスに転じている。</p> <p>○来期は 1(上昇&gt;下落)と、<u>横ばい</u>で推移する見通し。          &gt;業種別では、今期改善した農水産業(今期▲17→来期▲27)は再び悪化すると見込まれる。建設業(今期 5→来期 22)と不動産業(今期 50→来期 67)は上昇する見通し。</p>
原材料仕入単価 D.I.	<p>○今期は 44(上昇&gt;下落)と、前期(44)から<u>横ばい</u>で推移。          &gt;業種別では、卸売・小売業は仕入単価 D.I.が 29 と前期(21)より上昇しているものの、製(商)品販売単価 D.I.は▲24 と前期 14 から大幅に下落しており、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁しづらい状況であることがうかがえる。</p> <p>○来期は 40(上昇&gt;下落)と、<u>やや下落</u>する見通し。          &gt;業種別では、今期上昇した不動産業(今期 60→来期 80)は引き続き大幅に上昇すると見込まれる。製造業(今期 41→来期 28)と運輸業(今期 86→来期 71)、宿泊・飲食業(今期 50→来期 38)は下落する見通し。</p>
資金繰り D.I.	<p>○今期は▲13(楽&lt;苦しい)と、前期(▲11)から<u>ほぼ横ばい</u>で推移。          &gt;業種別では、運輸業(前期▲63→今期▲20)は依然マイナス圏に留まるものの大幅に改善した一方で、宿泊・飲食業(前期▲14→今期▲25)は悪化、情報通信業(前期 0→今期▲13)も下落しマイナスに転じている。</p> <p>○来期は▲14(楽&lt;苦しい)と、<u>ほぼ横ばい</u>で推移する見通し。          &gt;業種別では、今期下落した情報通信業(今期▲13→来期 0)は改善すると見込まれる。建設業(今期▲20→来期▲37)と宿泊・飲食業(今期▲25→来期▲36)は悪化、不動産業(今期 43→来期 29)も下落する見通し。</p>

概 況

雇用人員 D.I.	<p>○今期は▲50(過剰&lt;不足)と、前期(▲51)からほぼ横ばいで推移。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶業種別では、運輸業(前期▲80→今期▲50)は大幅に改善したもののマイナス圏に留まり、依然として全ての業種でマイナスとなっている。</li> <li>▶鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2019年10~11月の有効求人倍率の平均は1.43倍となっている。11月の有効求人数(パート含む)は3,743人、有効求職者数(パート含む)は2,536人となっている。</li> </ul> <p>○来期は▲50(過剰&lt;不足)と、横ばいで推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶業種別では、今期大幅に改善した運輸業(今期▲50→来期▲70)は、一転、大幅に悪化すると見込まれる。依然として全ての業種がマイナス圏に留まり、労働力不足の状態は続く見通し。</li> </ul>
損 益 D . I .	<p>○今期は▲25(好転&lt;悪化)と、前期(▲30)よりやや改善した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶業種別では、不動産業(前期20→今期▲13)は大幅に下落しマイナスに転じた。一方、農水産業(前期▲32→今期▲21)と卸売・小売業(前期▲29→今期▲18)、宿泊・飲食業(前期▲36→今期▲25)はいずれも、依然マイナス圏に留まるものの、改善している。</li> </ul> <p>○来期は▲32(好転&lt;悪化)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶業種別では、今期大幅に悪化した不動産業(今期▲13→来期13)は、一転、大幅に改善し再びプラスに転じると見込まれる。一方、今期改善した農水産業(今期▲21→来期▲43)と卸売・小売業(今期▲18→来期▲44)は、一転、大幅に悪化する見通し。</li> </ul>

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 181 先

〔 農水産業 36 先、建設業 22 先、製造業 57 先、卸売・小売業 20 先  
不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 〕

回答数：152 件 回答率：84.0%

2 調査時期： 2020 年 1 月

3 対象期間： 2019 年 10~12 月期実績(今期)、2020 年 1~3 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、自社の業況(景況感)の「良い」が10%、「悪い」が50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第18回 鹿屋市短期経済観測調査（かのや短観）結果

(単位：%)

項目	2019年7~9月				2019年10~12月					2020年1~3月					
	前 期				今 期					来 期 見 通 し					
	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI	前回 調査時 今 期	良い 増加	普通 同程度	悪い 減少	DI		
	(A)	(B)	(C)	(A-C)	(A)	(B)	(C)	(A-C)		(A)	(B)	(C)	(A-C)		
<b>自社の業況(景況感)</b>	<b>8</b>	<b>67</b>	<b>25</b>	<b>▲17</b>	<b>10</b>	<b>61</b>	<b>29</b>	↓▲19	▲13		<b>7</b>	<b>61</b>	<b>32</b>	↓▲25	
農水産業	9	73	18	▲9	17	63	21	↑▲4	▲5		17	57	26	↓▲9	
建設業	6	89	6	0	16	68	16	-	▲11		0	72	28	↓▲28	
製造業	4	64	32	▲28	6	51	43	↓▲36	▲13		4	59	37	↑▲33	
卸売・小売業	7	64	29	▲21	7	73	20	↑▲13	▲21		0	64	36	↓▲36	
運輸業	0	70	30	▲30	0	80	20	↑▲20	▲10		10	70	20	↑▲10	
不動産業	40	40	20	20	29	29	43	↓▲14	▲60		14	57	29	-▲14	
宿泊・飲食業	7	64	29	▲21	7	60	33	↓▲27	▲31		7	43	50	↓▲43	
情報通信業	29	43	29	0	13	75	13	-	0		29	75	13	-0	
<b>生産高(製造業)</b>	<b>18</b>	<b>44</b>	<b>38</b>	<b>▲20</b>	<b>20</b>	<b>46</b>	<b>35</b>	↑▲15	▲15		<b>9</b>	<b>56</b>	<b>36</b>	↓▲27	
<b>売上・完工高</b>	<b>17</b>	<b>41</b>	<b>42</b>	<b>▲24</b>	<b>17</b>	<b>48</b>	<b>35</b>	↑▲17	▲25		<b>13</b>	<b>49</b>	<b>38</b>	↓▲24	
農水産業	8	46	46	▲38	16	56	28	↑▲12	▲44		13	42	46	↓▲33	
建設業	16	37	47	▲32	11	53	37	↑▲26	▲39		0	61	39	↓▲39	
製造業	14	38	48	▲34	17	36	47	↑▲30	▲23		13	38	49	↓▲36	
卸売・小売業	29	50	21	7	12	53	35	↓▲24	▲14		13	47	40	↓▲27	
運輸業	20	50	30	▲10	20	70	10	↑10	10		10	80	10	0	
不動産業	40	40	20	20	38	25	38	↓0	▲80		14	86	0	↑14	
宿泊・飲食業	21	36	43	▲21	13	47	40	↓▲27	▲38		14	50	36	↑▲21	
情報通信業	29	29	43	▲14	38	63	0	↑38	57		50	38	13	-38	
<b>製品・商品在庫(適正水準比)</b>	多い <b>8</b>	妥当 <b>81</b>	少ない <b>11</b>	▲3	多い <b>8</b>	妥当 <b>79</b>	少ない <b>13</b>	↓▲4							
農水産業	5	90	5	0	9	78	13	↓▲4							
建設業	13	60	27	▲13	0	69	31	↓▲31							
製造業	8	82	10	▲2	15	72	13	↑2							
卸売・小売業	15	77	8	8	6	88	6	↓0							
運輸業	0	100	0	0	0	100	0	-							
不動産業	33	33	33	0	17	67	17	-							
宿泊・飲食業	0	93	7	▲7	0	100	0	↑0							
情報通信業	0	83	17	▲17	0	86	14	↑▲14							
<b>製(商)品販売単価</b>	上昇 <b>13</b>	横ばい <b>75</b>	低下 <b>12</b>	<b>1</b>	上昇 <b>13</b>	横ばい <b>76</b>	低下 <b>12</b>	-	<b>1</b>	<b>4</b>	上昇 <b>14</b>	横ばい <b>73</b>	低下 <b>13</b>	-	<b>1</b>
農水産業	14	45	41	▲27	9	65	26	↑▲17	▲27		9	55	36	↓▲27	
建設業	18	76	6	12	16	74	11	↓5	18		28	67	6	↑▲22	
製造業	6	83	11	▲4	11	80	9	↑2	0		4	87	9	↓▲4	
卸売・小売業	14	86	0	14	0	76	24	↓▲24	7		6	69	25	↑▲19	
運輸業	38	63	0	38	22	78	0	↓22	50		22	78	0	-22	
不動産業	25	75	0	25	50	50	0	↑50	67		67	33	0	↑67	
宿泊・飲食業	14	86	0	14	13	81	6	↓6	8		8	15	77	8	
情報通信業	0	86	14	▲14	13	88	0	↑13	0		13	88	0	-13	
<b>原材料仕入単価</b>	上昇 <b>45</b>	横ばい <b>53</b>	低下 <b>2</b>	<b>44</b>	上昇 <b>45</b>	横ばい <b>53</b>	低下 <b>2</b>	-	<b>44</b>	<b>48</b>	上昇 <b>40</b>	横ばい <b>60</b>	低下 <b>0</b>	↓	<b>40</b>
農水産業	29	67	4	25	32	68	0	↑32	38		36	64	0	↑36	
建設業	65	35	0	65	61	39	0	↓61	76		67	33	0	↑67	
製造業	46	52	2	43	55	2	↓41	44	28		72	0	↓28		
卸売・小売業	21	79	0	21	35	59	6	↑29	21		31	69	0	↑31	
運輸業	83	17	0	83	86	14	0	↑86	83		71	29	0	↓83	
不動産業	50	50	0	50	60	40	0	↑60	67		80	20	0	↑80	
宿泊・飲食業	64	36	0	64	50	50	0	↓50	62		38	62	0	↓38	
情報通信業	17	83	0	17	83	0	-	17	17		17	83	0	-17	
<b>資金繰り</b>	楽 <b>7</b>	普通 <b>75</b>	苦しい <b>18</b>	▲11	楽 <b>5</b>	普通 <b>77</b>	苦しい <b>18</b>	↓▲13	▲7		楽 <b>5</b>	普通 <b>76</b>	苦しい <b>19</b>	↓▲14	
農水産業	12	80	8	4	8	88	4	-	4		9	87	4	-4	
建設業	0	88	12	▲12	0	80	20	↓▲20	▲18		0	63	37	↓▲37	
製造業	2	78	20	▲18	2	73	25	↓▲23	▲11		4	77	19	↑▲15	
卸売・小売業	7	86	7	0	6	82	12	↓▲6	0		0	88	13	↓▲13	
運輸業	0	38	63	▲63	0	80	20	↑▲20	▲43		0	80	20	-▲20	
不動産業	40	60	0	40	43	57	0	↑43	25		29	71	0	↓29	
宿泊・飲食業	7	71	21	▲14	0	75	25	↓▲25	▲15		0	64	36	↓▲36	
情報通信業	29	43	29	0	13	63	25	↓▲13	29		13	75	13	↑29	
<b>雇用人員</b>	過剰 <b>1</b>	適正 <b>46</b>	不足 <b>52</b>	▲51	過剰 <b>3</b>	適正 <b>44</b>	不足 <b>53</b>	↑▲50	▲50		過剰 <b>3</b>	適正 <b>43</b>	不足 <b>53</b>	-▲50	
農水産業	4	63	33	▲29	0	65	35	↓▲35	▲25		5	59	36	↑▲32	
建設業	0	17	83	▲83	0	20	80	↑▲80	▲78		0	25	75	↑▲75	
製造業	2	49	49	▲47	9	38	53	↑▲45	▲50		9	43	49	↑▲40	
卸売・小売業	0	50	50	▲50	0	53	47	↑▲47	▲50		0	44	56	↓▲56	
運輸業	0	20	80	▲80	10	30	60	↑▲50	▲70		0	30	70	↓▲70	
不動産業	0	80	20	▲20	0	75	25	↓▲25	▲20		0	75	25	-▲25	
宿泊・飲食業	0	50	50	▲50	0	44	56	↓▲56	▲62		0	47	53	↑▲53	
情報通信業	0	43	57	▲57	0	38	63	↓▲63	▲29		0	25	75	↓▲75	
<b>損益</b>	好転 <b>6</b>	横ばい <b>57</b>	悪化 <b>37</b>	▲30	好転 <b>9</b>	横ばい <b>56</b>	悪化 <b>35</b>	↑▲25	▲23		好転 <b>4</b>	横ばい <b>60</b>	悪化 <b>36</b>	↓▲32	
農水産業	8	52	40	▲32	13	54	33	↑▲21	▲28		0	57	43	↓▲43	
建設業	5	63	32	▲26	0	75	25	↑▲25	▲32		0	72	28	↓▲28	
製造業	4	56	40	▲35	11	43	47	↓▲36	▲15		6	53	40	↑▲34	
卸売・小売業	0	71	29	▲29	18	47	35	↑▲18	▲21		0	56	44	↓▲44	
運輸業	0	50	50	▲50	0	70	30	↑▲30	▲11		10	60	30	↑▲20	
不動産業	40	40	20	20	25	38	38	↓▲13	▲60		13	88	0	▲13	
宿泊・飲食業	7	50	43	▲36	6	63	31	↑▲25	▲42		7	47	47	↓▲40	
情報通信業	14	71	14	0	0	100	0	-	0		0	88	13	↓▲13	

※ 四捨五入の関係上、D.I.値(A-C)は一致しない場合がある。